

## 一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	1年D巡	単元	実習	教科名	1D_二輪車整備	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2026.04.01
総時限	24時限				教科 担当	川田
総時間	38.4時間					増茂
単位数	1					

**1. 実務経験のある教員による授業科目 該当**

自動車整備士として、二輪車整備の実務経験がある教員により二輪車全般の構造、作動について指導する。

**2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

- ①二輪車特有の整備を学ぶ
- ②二輪車の基本的な構造を学ぶ。

**3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

- ①二輪車のブレーキ整備を出来るようになる。
- ②二輪車のタイヤ脱着及びチェーンの調整作業を出来るようになる。
- ③二輪車のフロントフォーク、ハンドル周りの脱着・調整を出来るようになる。
- ④二輪車のエンジン分解・組立を出来るようになる。
- ⑤二輪車のクラッチの分解組立を出来るようになる。
- ⑥二輪車特有の構造を理解出来る。

**4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）**

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。  
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上  
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）  
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

**5. 準備学習**

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとにテキストを用い、各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

**6. 学修時間と単位**

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。  
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

